

償還日 (2021年11月22日)

償還価額 12,398円11銭

純資産総額 227百万円

第93期～第98期
(2021年5月21日～2021年11月22日)

騰落率 1.7%

分配金合計 600円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

おとなのお財布

<奇数月定額払出型>

追加型投信／国内／不動産投信 **特化型**

交付運用報告書 償還

作成対象期間：2021年5月21日～2021年11月22日

第93期 (決算日2021年6月21日) 第96期 (決算日2021年9月21日)

第94期 (決算日2021年7月20日) 第97期 (決算日2021年10月20日)

第95期 (決算日2021年8月20日) 第98期 (償還日2021年11月22日)

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「おとなのお財布<奇数月定額払出型>」は、2021年11月22日に償還させていただきました。ここに運用状況と償還の内容をご報告申し上げます。

今後とも当社商品につきまして、いっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドは、投資信託約款において、運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、下記の手順で運用報告書(全体版)をダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

【ダウンロード方法】上記ホームページ→ファンド検索→ファンド名入力→ファンド詳細ページ→運用レポート→運用報告書(全体版)

UD FONT

ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。

運用経過

設定来の基準価額等の推移



設定時	10,000円	既払分配金	5,100円
償還時	12,398円11銭	騰落率 (分配金再投資ベース)	82.8%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、設定時の基準価額にあわせて指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■ 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・ 設定当初から償還日にかけて長期金利が低下基調で推移したこと
- ・ 設定当初から2019年にかけてオフィス賃貸市況の改善が続いたこと
- ・ 2020年から償還日にかけて新型コロナウイルスワクチンの開発および接種が進展したこと

<下落要因>

- ・ 2015年に中国経済の減速懸念を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まったこと
- ・ 2017年に米国によるシリア攻撃や北朝鮮情勢の緊迫化に伴う地政学リスクの高まりから株式市場が下落する中、Jリート市場も下落し軟調な推移となったこと
- ・ 2020年に新型コロナウイルスの感染拡大が生じたこと

このたびは、長らくのご投資誠にありがとうございました。

今後ともニッセイアセットマネジメントの商品をご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

1万口当たりの費用明細

2021.5.21~2021.11.22

項目	第93期~第98期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	72円	0.554%	信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は12,943円です。
(投信会社)	(36)	(0.280)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(33)	(0.252)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(3)	(0.022)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	13	0.103	売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 / 期中の平均受益権口数
(投資信託証券)	(13)	(0.103)	売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
その他費用	1	0.005	その他費用 = 期中のその他費用 / 期中の平均受益権口数
(監査費用)	(1)	(0.005)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(0)	(0.000)	・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	86	0.662	

(注1) 作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

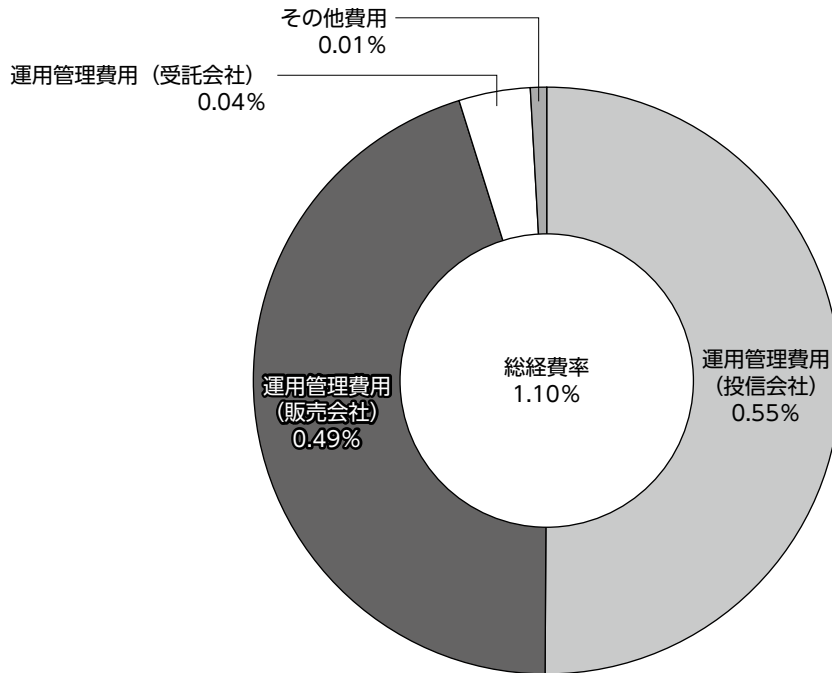
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(参考情報)

■ 総経費率

作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.10%**です。



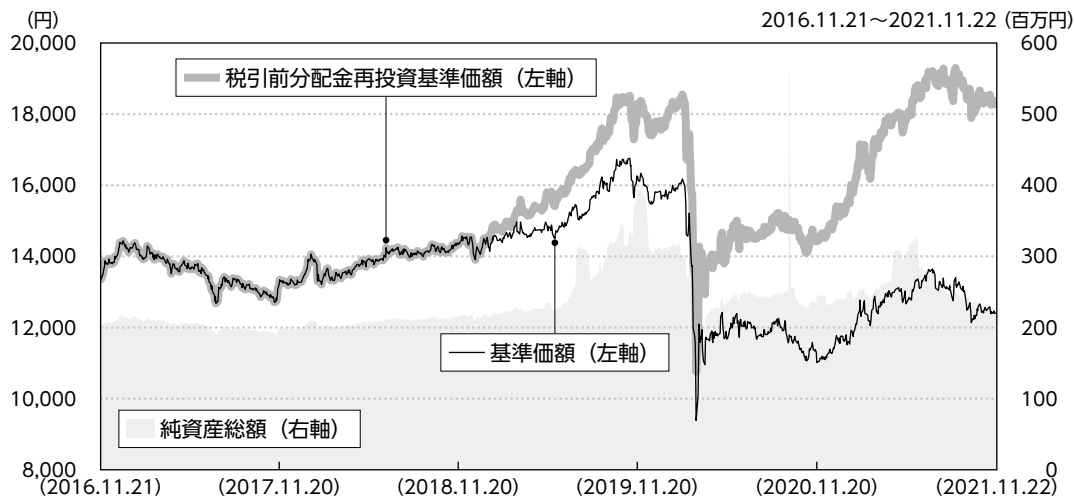
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 当ファンドの償還日は2021年11月22日です。

(注2) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、2016年11月21日の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注3) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様ご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

決算日		2016年 11月21日	2017年 11月20日	2018年 11月20日	2019年 11月20日	2020年 11月20日	2021年 11月22日
基準価額（分配前）	（円）	13,349	13,219	14,365	16,254	11,017	12,398.11
期間分配金合計（税引前）	（円）	—	0	0	1,800	1,800	1,500
税引前分配金再投資基準価額の騰落率	（％）	—	△1.0	8.7	27.3	△21.1	26.7
参考指数騰落率	（％）	—	0.1	12.1	29.1	△21.4	26.9
純資産総額	（百万円）	200	198	215	395	243	227

(注1) 参考指数は東証REIT指数（配当込み）です。

(注2) 償還日の基準価額は償還価額を記載しています。

設定来のＪリート市況



(注) 指数はブルームバーグのデータを使用しています。

当運用期間のＪリート市場は、設定時と比較すると大きく上昇しました。

設定当初のＪリート市場は、長期金利が低位安定的に推移する中、2014年10月に日銀が「量的・質的金融緩和の拡大」を公表したことや東京都心のオフィス賃貸市況が改善を示し始めたことが好感されて上昇基調で推移しました。2015年から2017年にかけては、オフィス賃貸市況が改善を示す中、中国経済の減速懸念に加え、米国によるシリア攻撃や北朝鮮情勢の緊迫化に伴う地政学リスクの高まりから株式市場が下落し、Ｊリート市場も上値が重い展開となりました。2018年から2019年にかけては、低金利と良好なオフィス賃貸市況に加えて、投資口価格の上昇に伴う資本調達コストの低下を活用した有効な資金調達と物件取得の増加が好感されたことで大きく上昇しました。2020年以降は新型コロナウイルスの感染拡大を背景に投資家のリスク回避姿勢が強まったことで大きく下落する場面がありましたが、緩和的な金融政策による長期金利のさらなる低下やワクチン開発および接種が進展したことが好感され、償還日にかけて反発上昇しました。

ポートフォリオ

■当ファンド

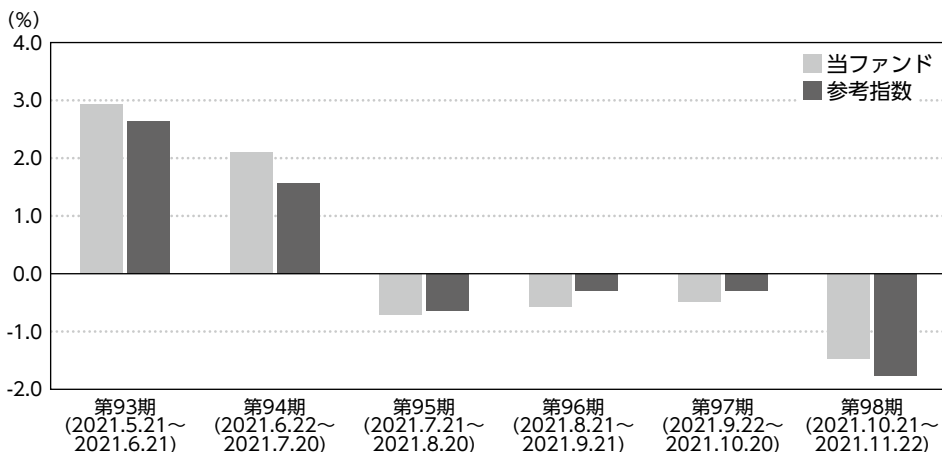
マザーファンド受益証券の組入比率をおおむね高位に保った運用を行いました（ただし、当ファンドから信託報酬等の費用を控除する関係などから、当ファンドの収益率はマザーファンドとは必ずしも一致しません）。

■マザーファンド

国内の金融商品取引所に上場しているＪリートに投資することにより、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。

組入銘柄の選択については、相対的に安定したインカム収入が期待できるＪリートを重視し、信用度・流動性等を勘案したポートフォリオの構築を行いました。

参考指数との差異



当ファンドはベンチマークを設けていません。参考指数は東証REIT指数（配当込み）です。当作成期の税引前分配金再投資基準価額騰落率は+1.7%となり、参考指数騰落率（+1.2%）を上回りました。

これはマザーファンドの個別銘柄選択において対参考指数比でCREロジスティクスファンド投資法人やSOSiLA物流リート投資法人を多めに保有していたことなどがプラスに寄与したことによるものです。

（注1）基準価額の騰落率は分配金込みです。

（注2）マザーファンドの参考指数は東証REIT指数（配当込み）です。

払出金（分配金）

当作成期の払出金は、約款が定める払出水準に基づき、下表の通りとさせていただきます。
なお、払出しに充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行いました。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	第93期	第94期	第95期	第96期	第97期
	2021年5月21日 ～ 2021年6月21日	2021年6月22日 ～ 2021年7月20日	2021年7月21日 ～ 2021年8月20日	2021年8月21日 ～ 2021年9月21日	2021年9月22日 ～ 2021年10月20日
当期分配金（税引前）	－	300円	－	300円	－
対基準価額比率	－	2.24%	－	2.32%	－
当期の収益	－	251円	－	57円	－
当期の収益以外	－	48円	－	242円	－
翌期繰越分配対象額	5,944円	5,896円	5,935円	5,693円	5,707円

(注1) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

償還金

1万口当たり償還金（税引前）

12,398円11銭

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

■ 組入ファンド

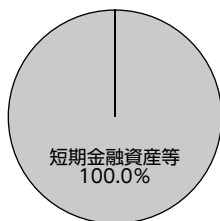
該当事項はありません。

■ 純資産等

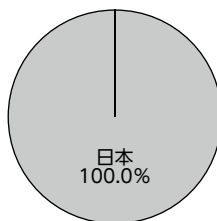
項目	第93期末 2021年6月21日	第94期末 2021年7月20日	第95期末 2021年8月20日	第96期末 2021年9月21日	第97期末 2021年10月20日	第98期末 2021年11月22日
純資産総額	283,642,655円	257,920,129円	245,160,828円	244,286,456円	233,359,165円	227,176,112円
受益権総口数	215,912,133口	196,697,857口	188,289,118口	193,181,386口	185,441,304口	183,234,536口
1万口当たり基準価額	13,137円	13,113円	13,020円	12,645円	12,584円	-
1万口当たり償還価額	-	-	-	-	-	12,398円11銭

(注) 当作成期間（第93期～第98期）中における追加設定元本額は39,296,917円、同解約元本額は95,742,784円です。

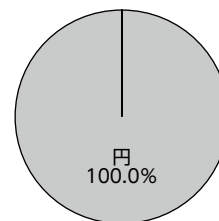
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



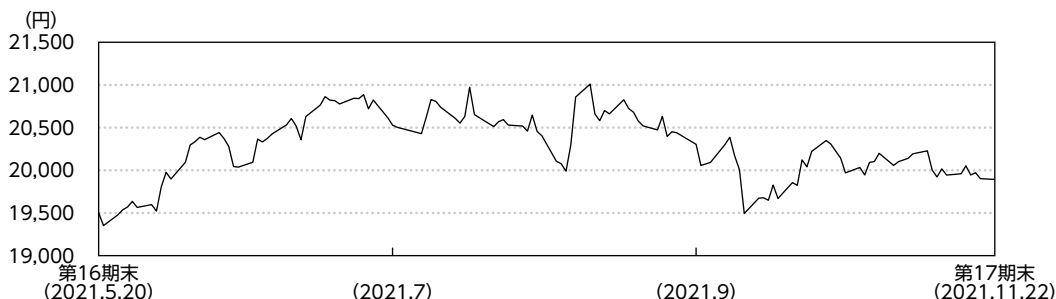
(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2021年11月22日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

おとなのお財布<奇数月定額払出型>

*償還日である2021年11月22日現在、マザーファンドの組み入れはありませんが、ご参考として直近のマザーファンド決算日における情報を記載しています。

ニッセイリート・インカム・アンド・ストラテジーマザーファンドの概要

■ 基準価額の推移



■ 上位銘柄

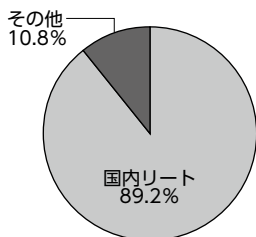
銘柄名	通貨	比率
野村不動産マスターファンド投資法人	円	6.1%
大和ハウスリート投資法人	円	6.0
日本ビルファンド投資法人	円	4.8
ジャパンリアルエステイト投資法人	円	4.5
ユナイテッド・アーバン投資法人	円	4.2
GLP投資法人	円	4.1
日本都市ファンド投資法人	円	4.0
アクティビア・プロパティーズ投資法人	円	3.6
いちごオフィスリート投資法人	円	3.4
オリックス不動産投資法人	円	2.9
組入銘柄数		38

■ 1万口当たりの費用明細

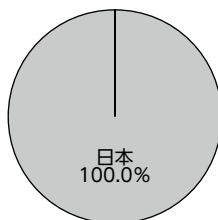
2021.5.21~2021.11.22

項目	金額
売買委託手数料 (投資信託証券)	30円 (30)
その他費用 (その他)	0 (0)
合計	30

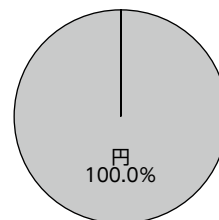
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



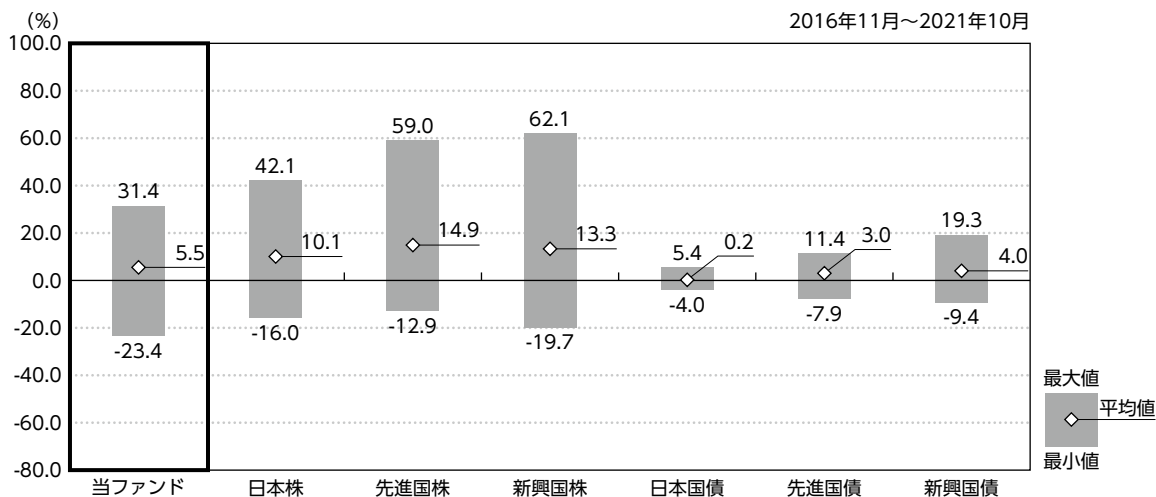
(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2021年11月22日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

参考情報

■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1) 上記は、当ファンドの騰落率（税引前分配金再投資基準価額騰落率）と代表的な資産クラスの騰落率を比較したものであり、各資産クラスは当ファンドの投資対象を表しているものではありません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものであり、償還日に対応した数値とは異なります。

<代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数>

- 日本株・・・TOPIX（東証株価指数）（配当込み）
- 先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
- 新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
- 日本国債・・・NOMURA-BPI 国債
- 先進国債・・・FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
- 新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

- ・すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・海外の指数は、「為替ヘッジなし（対円）」の指数を採用しています。

*各資産クラスの指数につきましては、後掲の「指数に関して」をご参照ください。

指数に関して

■代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数について

- ・ T O P I X（東証株価指数）は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび T O P I X（東証株価指数）の商標または標章に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
- ・ M S C I コクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・ M S C I エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・ N O M U R A - B P I 国債とは、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、当ファンドの運用成果等に関し、一切責任を負いません。
- ・ F T S E 世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- ・ J P モルガン G B I - E M グローバル・ディバーシファイドは、J P モルガン社が算出する債券インデックスであり、その著作権および知的所有権は同社に帰属します。

お知らせ

■ 自社による当ファンドの設定解約状況

当作成期における自社による当ファンドの設定解約はありません。なお、償還日（2021年11月22日）現在、自社による当ファンドの保有残高は185百万円（元本150百万円、ファンド全体の81.9%）です。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／国内／不動産投信 特化型	
信 託 期 間	2013年10月8日～2021年11月22日	
運 用 方 針	ニッセイJリート・インカム・アンド・ストラテジーマザーファンド 受益証券への投資を通じて、実質的に国内の金融商品取引所に上場しているJリート（不動産投資信託）に投資することにより、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行うとともに、毎月の払出（分配）水準に基づきこれを上限として、投資者に対し資金の払出し（分配）を行うことをめざします。	
主要運用対象	おとなのお財布 <奇数月定額払出型>	ニッセイJリート・インカム・アンド・ストラテジーマザーファンド 受益証券
	ニッセイJリート・ インカム・アンド・ ストラテジーマザーファンド	国内の金融商品取引所に上場しているJリート
運用方法	おとなのお財布 <奇数月定額払出型>	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・投資信託証券（マザーファンドおよび上場投資信託証券等を除きます）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・外貨建資産への投資は行いません。
	ニッセイJリート・ インカム・アンド・ ストラテジーマザーファンド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・投資信託証券（上場投資信託証券等を除きます）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・外貨建資産への投資は行いません。
分 配 方 針	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、下記に定める毎月の払出水準に基づき、これを上限として払出額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、払出しを行わないことがあります。 ※毎月の払出金（分配金）水準 奇数月の決算日：300円（1万口当たり、税引前） 偶数月の決算日：払出し（分配）を抑制する方針	